

## 大船渡市のいじめの現状と対応

H27. 7. 22

「文部科学省 平成 26 年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」より（平成 27 年 5 月実施）

### 1 いじめの認知件数

市全体では、小中学校とも数件発生している。

（※各事案は、「いじめ防止対策推進法」第 28 条に触れる「重大事態」に相当し、調査を行ったものはない。）

### 2 いじめを受けた児童生徒についての状況

- (1) いじめ発見のきっかけ
- (2) いじめを受けた児童生徒からの相談状況
- (3) いじめの態様

### 3 学校の対応

- (1) いじめる児童生徒への対応（※いじめる児童生徒に対する関係諸機関の措置別人数：0 人）
- (2) いじめられた児童生徒への対応

### 4 学校におけるいじめの問題に対する日常の取組

- (1) 職員会議等を通じて、いじめ問題について教職員間で共通理解を図る。
- (2) 道徳や学級活動の時間にいじめにかかわる問題を取り上げ、指導を行う。
- (3) いじめ問題に対応するため、校内組織の整備など教育相談体制の充実を図る。
- (4) 学校におけるいじめへの対応方針や指導計画等を公表し、保護者や地域住民の理解を得るように努めた。

### 5 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に行っている取組

- (1) アンケート調査の実施（年 2 ～ 3 回 記名式）
- (2) 個別面談の実施
- (3) 「個人ノート」や「生活ノート」というような教職員と児童生徒との間で日常的に行われている日記等
- (4) 家庭訪問

### 6 教育委員会におけるいじめの問題に対する日常の取組

- (1) 各校からの報告による実態把握
- (2) 必要に応じてケース会議を開催する等の指導助言
- (3) 市地域福祉課、児童家庭支援センター、教育相談室等、関係諸機関との連携
- (4) 市生徒指導研究会（年 2 回）による、子ども理解や指導の仕方等、いじめ防止に係る研修会の実施
- (5) 校長会議等における日常の生活の情報交換によるいじめ防止の再確認
- (6) 教育相談室に教育相談員を配置し、学校と家庭の連携、教育相談への対応、指導、助言
- (7) 市内全中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みや相談に対応
- (8) スクールカウンセラーによる、児童生徒、保護者、教職員へのカウンセリング、助言、援助
- (9) 学級満足度や学校生活意欲度を調査する「QU」の実施（今年度は「hyper-QU」を実施）

※各中学校では自校負担で全学年実施予定

### 7 教育委員会における取組の今後の課題

- (1) 「いじめ相談電話カード」等の再配布による、いじめ防止喚起
- (2) いじめ防止対策推進法第 12 条に規定する「地方いじめ防止基本方針」の策定